

2022年10月11日・12日

「令和5年度 AMED橋渡し研究プログラム」説明会
橋渡し研究支援機関 国立がん研究センター

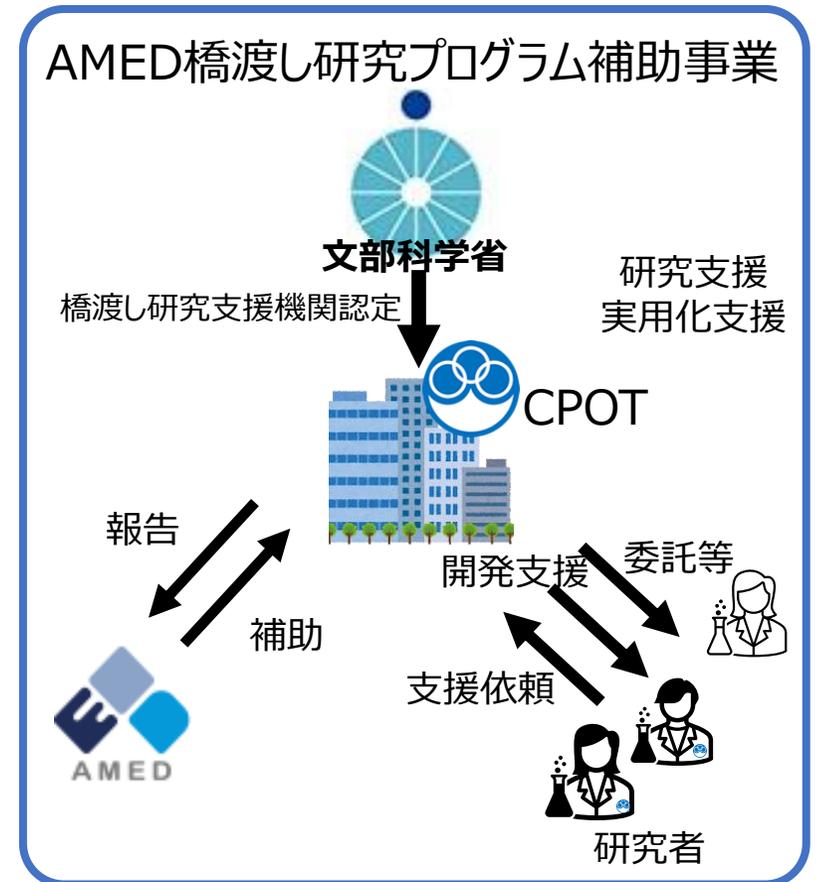
「令和5年度 AMED橋渡し研究プログラム シーズ支援課題の募集」 について～シーズA～

国立がん研究センター
橋渡し研究推進センター（CPOT）



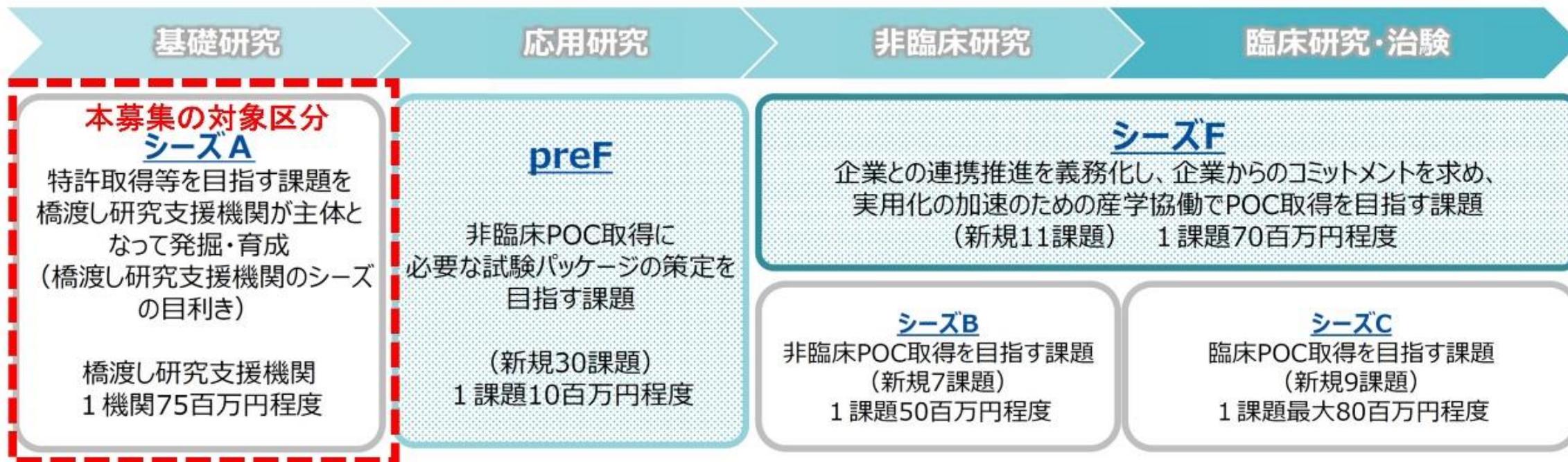
AMED橋渡し研究プログラムにおけるCPOTの役割

- 国立がん研究センター橋渡し研究推進センター（CPOT）は、「橋渡し研究支援を実施する拠点」として、**国立がん研究センター内部および外部アカデミア機関**のシーズの育成や、企業とのマッチングおよび導出に向けた活動の効率化・活性化のため、候補シーズの募集と登録を行う。
- CPOTは国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「橋渡し研究プログラム（補助事業・シーズA）」において、研究者からの支援依頼シーズについて、拠点内の評価委員会（運営委員会）の判定に基づき研究費を配分する。
- 採択課題において、プロジェクトマネジメントをはじめ、実用化までの研究支援を行う。



募集区分の概要

- ▶ 「橋渡し研究プログラム」の支援シーズ区分は、特許取得状況、非臨床・臨床POCの取得状況、企業連携の有無などにより、シーズA、preF、シーズF、シーズB、シーズCに区分される。
- ▶ 本公募では、**シーズA（基礎研究）を対象とし**、支援を希望するシーズを募集する。



募集区分について

シーズA

1. 対象課題：支援期間内に関連特許出願を目指す基礎研究課題
2. 支援期間・支援額：原則1年間、最大5,000千円/年度/課題
3. 成果目標：

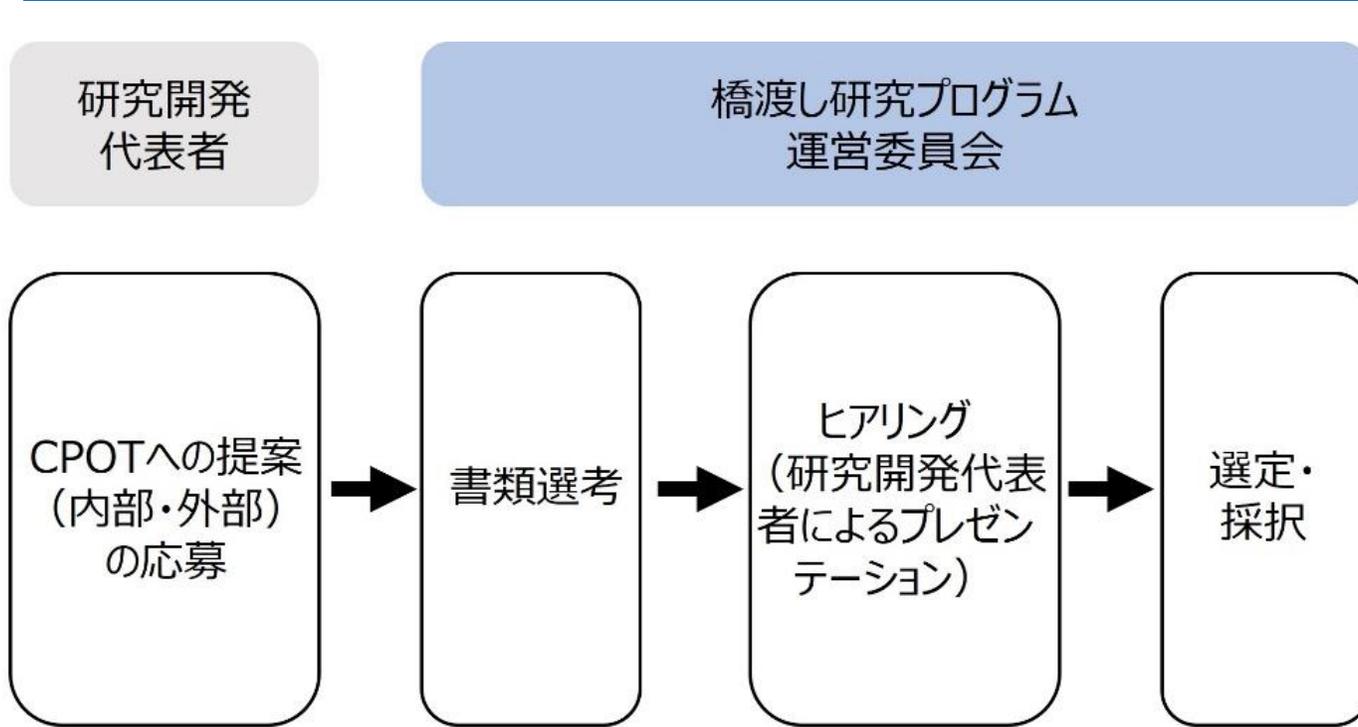
- 関連特許の出願
- preF*へのステージアップ

* preF: 非臨床POC取得に必要なパッケージの策定を目指す研究。応募条件は、特許出願済でかつ、支援期間内（2年間）で治験開始に必要な非臨床試験の項目とRS戦略相談（対面助言）を受けるための蓋然性の高い研究計画及び開発計画、及び企業との連携を行うための計画が立てられていること

4. 応募条件：アカデミアが関連特許を出願、または企業と共同出願することを目指すシーズであること



「橋渡し研究プログラム」シーズA課題の選考



令和4年度実績		
	応募課題数 (NCC内/外)	採択課題数 (NCC内/外)
A	38 (26/12)	17 (11/6)

応募課題数の増加		
	令和4年度 (NCC内/外)	令和5年度 (NCC内/外)
preF	5 (3/2)	22 (8/14)
F/B/C	3 (2/1)	9 (6/3)

<採択候補課題の選定方法>

橋渡し研究推進センターが事務局となる**運営委員会**により、**書類審査**および必要に応じて**ヒアリング審査**が実施される。

<採択候補課題の選定フロー>

シーズAについては、橋渡し研究推進センターが事務局となる**運営委員会**が応募課題の中から採択候補課題を**選定**し、**研究費配分額**も決定する。**AMED**による審査は行われ**ない**。

スケジュール（予定）

- 10月7日（金） 応募開始
- 10月11日（火） 第1回説明会（Zoom Meeting）
- 10月12日（水） 第2回説明会（Zoom Meeting）
- **11月8日（火） 正午 応募締め切り**
- ~12月上旬 書類審査
- 12月20日~22日 ヒアリング審査
- 1月中旬~2月上旬 採択候補課題決定（予定）

※ヒアリング審査日時

12月20日（火） 12時30分～15時30分

12月21日（水） 10時～13時

12月22日（木） 10時～13時



応募方法について

<応募期限>

令和4年11月8日（火）正午



<応募方法>

- 各提案書様式を下記URLまたは右のQRコードよりダウンロード
(https://www.ncc.go.jp/jp/cpot/seeds_recruit/2023_a/index.html)
- 所定の提案書を作成する
- 提案書ファイルをメールに添付し、応募窓口 (cpot_boshu@ml.res.ncc.go.jp) に送付

<問い合わせ先>

橋渡し研究推進センター シーズ募集事務局 (cpot_boshu@ml.res.ncc.go.jp)



選定のポイント

1. 提案書に下記四点を明確に記載する。

① **新規性**

② **優位性**

③ **医療現場での必要性**

④ **計画妥当性**

➤「②優位性」に関しては、類似研究（ゴールが似ているものも含め）との**差別化点**を明確に記載する。

➤「③医療現場での必要性」に関しては、**臨床現場での課題点と解決策**を記載する。

➤「④計画妥当性」に関しては、

- **無理な研究計画は記載しない。**
- **ゴールとタイムライン**を明確に記載する。
- 幾つかの実験を並行して走らせる際には、必ず**優先順位**を記載する。
- **過剰な研究計画は減点**となる。

2. **他研究費（公的、共同研究）を獲得している場合には、研究内容の切り分けを明確にする。**

➤本研究費で報告する研究内容は、他研究費を用いて報告する研究内容とダブらないようにする。

3. 特許出願、実用化のイメージ（出口戦略）、企業連携などの具体的な計画を記載する。